

“第2回「和船競漕大会」開催される”



優勝の喜びを語る野牛漁協チーム

〈レース結果は次のとおり〉

優勝	野牛漁業協同組合(2分29秒)
準優勝	後潟漁業協同組合(2分50秒)
第3位	石持漁業協同組合
第4位	小泊漁業協同組合
第5位	野辺地町漁業協同組合
第6位	尻労漁業協同組合



スタート地点に並ぶ各参加チーム



開会の挨拶を述べる植村大会長

海洋国日本の繁栄を願う日として、平成八年に国民の祝日七月二十日が「海の日」となったことは、本県としても大変喜ばしいことである。

そこで、和船による漁業及び海上交易が盛んであった往時を偲び、小学生によるボート競技や和船とクルマガイ(車權)を使用した職場對抗競漕等を実施し、權を漕ぐ技法の伝承を図るとともに、この行事を継続的に実施することにより、青森県の夏の風物詩、伝統的な行事を育てることを目的として、県内各地から十八チームが参加し、昨年に引き続き「和船競漕大会」が去る七月二十日「海の日」に青森市青い海公園前で開催されました。

和船は、昭和三十年代ごろまで県内でコンブやエゴノリ漁などに広く使われていた木製の小船で、みちのく北方漁船博物館が収蔵していたものを使用した。

参加者は四人一チームとなり、独特のこぎ方を用する「車權」で和船を二百m走らせたが、大半が「車權」の未経験とあって船の操作が難しく、観客からは拍手や笑いが巻き起こっていた。

来年以降も引き続き、和船競漕大会が開催されますので、是非ご参加をいただきますようお願い致します。